

各位

三神地域農業指導者連絡会作物部会
三神農業振興センター

「稲作情報（第10号）」について（送付）
このことについて、下記のとおり送付しますので、業務の参考にして下さい。

稲・大豆作情報（第10号）

1. 情報田生育調査結果について

(1) 耕種概要

品種名	夢しずく (上峰町)	さがびより (みやき町)	ヒヨクモチ (神崎市)
移植日(月日)	6月11日 (平年：6/9)	6月18日 (平年：6/20)	6月23日 (平年：6/19)
栽植密度(株/m ²)	15.6 (52.1株/坪)	16.8 (55.9株/坪)	18.7 (62.2株/坪)

(2) 調査結果（8月31日現在）

品種名	夢しずく	さがびより	ヒヨクモチ
草丈(cm)			
平年値(平年比)			
莖数(本/m ²)	出穂期 8/14	出穂期 8/30	出穂期予測 9/8 (平年：9/6)
平年値(平年比)			
葉齢(L)	止葉葉位 13.5	止葉葉位 15.1	止葉葉位 15.9
平年値(平年差)			
葉色(SPAD値)			
平年値(平年差)			
概況			
気象（9月1日～9月5日までの期間）			
【平均気温】平年より1.4℃高い。		【日照時間】平年比75%と少ない。	
【降水量】平年比36%と少ない。			

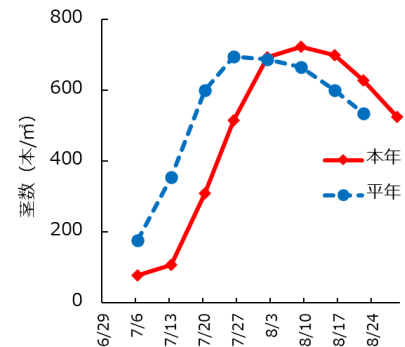
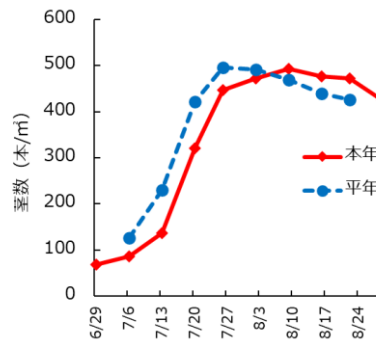
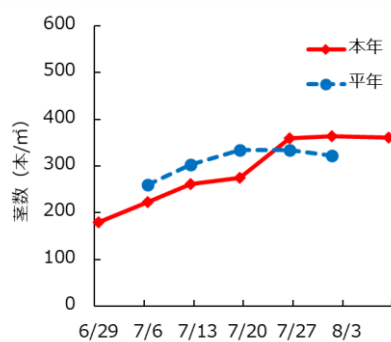


図 莖数の推移（左：夢しずく、中：さがびより、右：ヒヨクモチ）

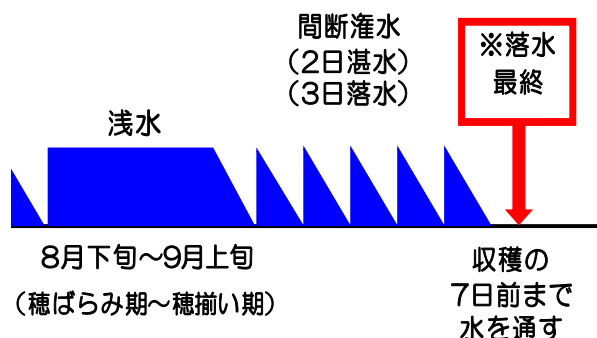
移植日	項目 品種	年次	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	止葉 葉数	概況 (平年と比較して)
6月17日	夢しずく	本年	8/17	未	14.1	【気象】 8月28～9月3日まで ◆平均気温…平年より1.8℃高い ◆日照時間…長い(平年比107%) ◆降水量…少ない(平年比33%) 【出穂期】 「夢しずく」…平年並み 「ヒノヒカリ」…平年並み 「さがびより」…平年並み 「ヒヨクモチ」…2日早い 【止葉葉数】 「夢しずく」…平年よりやや多い 「ヒノヒカリ」…平年並み 「さがびより」…平年よりやや多い 「ヒヨクモチ」…平年よりやや多い
		平年	8/17	9/24	13.4	
		平年比(差)	±0	-	+0.7	
6月20日	さが びより	本年	9/1	未	15.3	
		平年	9/1	10/13	15.0	
		平年比(差)	±0	-	+0.3	
6月20日	ヒヨク モチ	本年	9/4	未	16.5	
		平年	9/6	10/29	15.9	
		平年比(差)	-2	-	+0.6	
留意点	○水管理は、収穫1週間前まで間断灌水を行う。 ○トビイロウンカ、紋枯れ病、いもち病、カメムシ等の病害虫については、地域の発生状況を確認のうえ、適期防除に努める。					

2. 普通期水稻の今後の管理について

「夢しずく」は糊熟期、「ヒノヒカリ」は乳熟期、「さがびより」は穂揃い期、「ヒヨクモチ」は出穂前～始めとなっている。
 収量・品質に影響を及ぼす時期であるため、圃場管理を適正に行う。

(1) 水管理

- ・下記図参照に生育ステージに応じた水管理を行う。



- ・水分ストレスに敏感な時期となっているため、強い水分ストレスを与えないよう間断灌水を実施し、湿润状態を保つ。
- ・気象庁の一月予報によると、今後も高温が続くと予想されている。夜間の高温は、穂への養分転流が劣り、登熟歩合の低下や白未熟粒発生など、品質低下が懸念される。日中は浅水、夜間は湛水管理を行い、なるべく地温を下げるよう努める。

(2) 穂肥

- ・「ヒヨクモチ」は出穂期ごろとなっている。
- ・実肥を施用する場合は、表 1 を参考に穂揃期（平年：9月8～10日）に施用する。

表 1. ヒヨクモチの穂肥時期と穂肥量

肥料	穂肥 I 施用量 (kg/10a)	施用時期の目安	穂肥 II 施用量 (kg/10a)	施用時期の目安	実肥施用量 (kg/10a)	施用時期の目安
LPBB804	40 (平坦:JA さが東部地区)	8月20日頃	なし	—	なし	—
	35 (山麓:JA さが東部地区)					
	30 (JA 神埼地区)					
BB602	25 (平坦:JA さが東部)	8月20日頃	10 (JA さが東部)	8月25日～27日 (穂肥 I の10日後)	10 (JA さが東部)	穂揃い期 9月8～10日頃
	25 (JA 神埼地区)		15 (JA 神埼地区)			

注1) 大豆跡の圃場では、穂肥の散布を控えるか、上記施用量の5割未満に減肥して施用する。
 注2) 実肥を施用する場合は、穂揃期（平年：9月8日～10日頃）に施用する。

(3) 病害虫防除

- ・各圃場での発生状況に注意し、適切な防除を行う。

① トビイロウンカ

- ・9月4日の県内調査では、トビイロウンカは確認されていないが、その他ウンカ類の幼虫および成虫が確認されている。
- ・防除実施後も各圃場での発生状況を確認し、発生がみられる場合には臨機防除を実施する。

※本年は多発生条件となっており、今後急増する場合もあるため、発生状況に注意し、適期防除に努める。防除適期は「幼虫心化揃い期」

- ・今後、発生予測は随時更新されるため、防除の考え方等については、最新情報を農業技術防除センターのホームページで確認し、適期防除に努める。

[佐賀県 農業技術防除センター](#)

防除適期③
 9/20～9/26頃
 農薬の使用晩限に注意

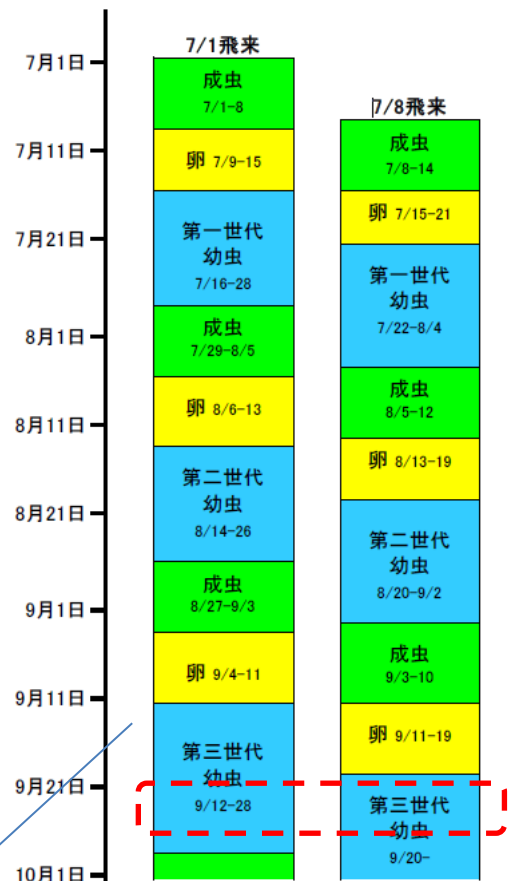


図 トビイロウンカの発生予測 第4版、2023年8月28日作成

② コブノメイガ

- ・県内各地で誘殺が確認されており、管内でも散見されている。
- ・止葉を含む上位3葉に被害が出ると減収につながるため、圃場ごとの発生状況を確認したうえで、幼虫心化揃い期（発蛾最盛期の7日後）に防除を実施する。

③斑点米カメムシ

- 乳熟期（穂揃い期の約 10 日後）を中心に農薬防除を行い、多発生の場合はその 7～10 日後に 2 回目防除を行う。
- 防除はカメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。

④紋枯病

- 過繁茂の圃場では、一気に進展する恐れがあるため、病斑が確認された場合は上位葉の葉鞘に進展（垂直進展）する時期にバリダシン液剤（収穫 14 日前まで）等で防除を行う。



写真 紋枯病の病斑
(R5.9/5)

3. 大豆の今後の管理について

7月15日播種で莢伸長初期、7月20日以降播種で開花末期ごろとなっている。開花期以降は特に水分を必要とするため、暗渠排水の栓を閉めるなどして土壌水分の確保を図る。
また、ハスモンヨトウ及びその他のチョウ目による葉の食害が散見される。各圃場での発生状況に注意し、適切な防除を行う。

(1) 今後の天候について

参考) 週間天気予報 (佐賀県9月6日10時時点 佐賀地方気象台より)

日付	今日 06日(水)	明日 07日(木)	明後日 08日(金)	09日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)
佐賀県	曇後晴 	晴 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇 	曇 	曇
降水確率(%)	-/40/10/10	0/0/0/0	30	30	40	40	40
信頼度	-	-	B	B	B	B	B
佐賀 最低/最高(°C)	- / 32	25 / 33	23 / 32	23 / 33	23 / 33	24 / 33	24 / 34

(2) 除草剤について

- 雑草の発生が多い圃場では中耕培土後に雑草の発生に応じて生育期の茎葉処理剤を散布する。
 - イネ科の残草が多い場合はポルトフロアブル、ナブ乳剤、セレクト乳剤。
 - アサガオ類、ホオズキ類の難防除雑草が多い地域では、圃場内侵入防止に努める。また、圃場内に発生している場合は、発生が少ないうちに雑草の開花や結実前までに茎葉処理剤のスポット散布や手取りによる徹底防除を行う。

(3) 病虫害対策

- 「病虫害発生予察情報予報第6号（8/30発表：大豆9月）」によると、9月の予想発生量は、ハスモンヨトウ、カメムシ類が「やや多」と予想される。各圃場での発生状況に注意し、適切な防除を行う。

①ハスモンヨトウ

- 管内圃場で幼虫や白変葉が散見される。
- **防除適期は、若齢幼虫による白変葉が見られ始めた頃**であり、防除が遅れ中齢幼虫以上（体長約 2cm 以上）になると防除効果が低下する。
- 防除後約 3 日経過した後も高い密度で食害を続けている場合は再防除が必要。

②カメムシ類

- 管内圃場でも発生が確認されている。
- 防除適期は、莢の伸長初期から子実肥大中期である。

③その他

- 管内圃場でオオタバコガやウワバ類と思われる食害が確認されている。
- ハスモンヨトウによる白変葉と異なり、葉に穴が開くように食害されている場合は、オオタバコガ等の虫害と考えられる。
- オオタバコガやシロイチモジヨトウには、ノーモルト、トレボンの感受性が低下しているため、使用を避ける。

ハスモンヨトウ・オオタバコガ・ウワバ類：プレバソン、トルネード、ベネビア OD 等
シロイチモジヨトウ：プレオ、グレーシア等



ハスモンヨトウ



オオタバコガ



シロイチモジヨトウ

令和5年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

三神農業振興センター

